



2026 年 7 月 13 日

株式会社 JMDC

JMDC、生涯を通じた歯科健診の推進に向け、レセプトデータ等を 活用した歯科健診等の効果に関する調査を実施

株式会社 JMDC（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：野口亮、以下「JMDC」）は、令和 7 年度厚生労働省事業「全世代向けモデル歯科健康診査等実施事業（レセプトデータを活用した歯科健診の評価分析事業）」を受託し、生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）に向けた取り組み推進のため、レセプトデータ等を活用し、歯科健診等の効果（口腔と全身の健康の関係、医療費適正化効果等）について調査を実施いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

■ 本調査の背景と意義

近年、全身の健康と口腔の健康との関連性が注目されております。「経済財政運営と改革の基本方針 2025」においても、生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）に向けた具体的な取組の推進等の歯科口腔保健の強化が盛り込まれており、自治体や職域における歯科健診受診機会の拡大に向けた検証が求められています。

本調査では、歯科口腔保健の推進に向けた基礎資料を得ることを目的として、レセプトデータ等を活用し、歯科でのメンテナンスを目的とした受療（保険診療のみを対象、歯科メンテナンス受療）や歯の欠損の有無と、歯科疾患の重症化、生活習慣病、医療費等との関連を分析しました。

■ 本調査の実施方法

本調査では、JMDC と契約している健康保険組合・共済組合のうち、二次利用許諾が得られている保険者データを用い、分析方針を検討したうえで、分析を行いました。分析結果は、検討委員（歯科・公衆衛生・レセプトデータ分析に関する有識者）と意見聴取を行ったほか、検討委員会にて分析結果の信頼性や妥当性について精査しました。

■ 本調査で明らかになったこと

本調査により、主に以下の結果が確認されました。

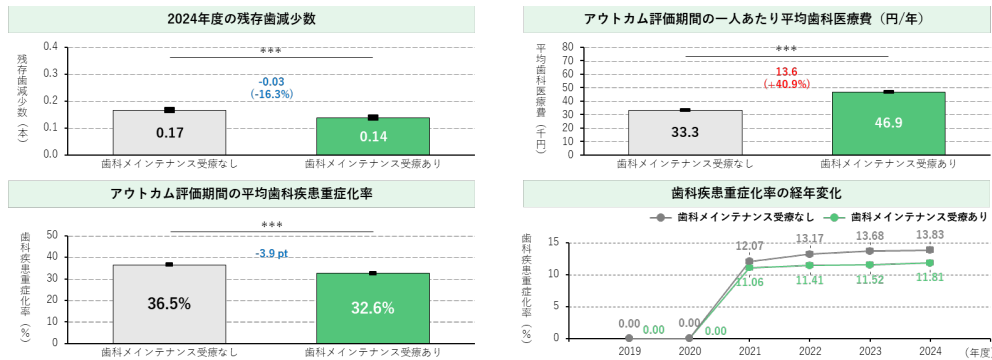
【歯科メンテナンス受療と歯科疾患重症化】

- 本分析では、傾向スコアマッチングにより、交絡因子を調整した歯科メンテナンス受療あり群（64,391 人）とそれに対応する受療なし群（64,391 人）で、4 年間（2021-2024 年度）のアウトカムを比較しました。
- 歯科メンテナンス受療あり群は、受療なし群と比較して、残存歯減少数が 1 年間で



0.03 本少なく、統計的有意差が認められました。

- また、4 年間の平均歯科疾患重症化率は、歯科メンテナンス受療あり群の方が受療なし群より 3.9 ポイント低く、統計的有意差が認められました。
- 一方で、4 年間の一人あたり平均歯科医療費は、歯科メンテナンス受療あり群の方が受療なし群より約 1.4 万円高く、統計的有意差が認められました。



*1 歯科メンテナンス受療状況を適切に判定できる（歯科メンテナンスの受療判定に用いたコードが2020年度診療報酬改正により追加された）期間を2020年度の1年間とし、その前1年間を残存歯数判定期間、2021年度以降最長で取得できる2024年度までの期間をアウトカム評価期間とした。残存歯数の判定期間との整合性を図るため、残存歯数減少数はアウトカム評価期間の最終1年間で評価した。

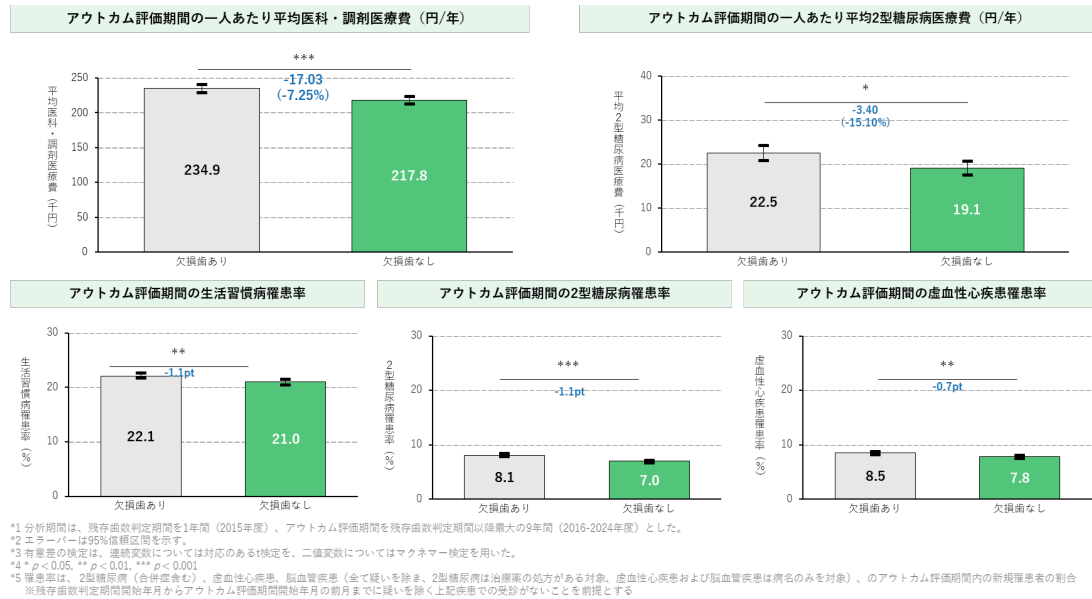
*2 エラーバーは95%信頼区間を示す。

*3 有意差の検定は、連続変数については対応のあるt検定を、二値変数についてはマクネマー検定を用いた。

*4 *** $p < 0.001$

【歯の欠損の有無と全身の医療費の分析】

- 本分析では、傾向スコアマッチングにより、交絡因子を調整した歯の欠損なし群（30,175 人）とそれに対応する欠損あり群（30,175 人）で、9 年間（2016-2024 年度）のアウトカムを比較しました。
- 歯の欠損なし（残存歯数が 24 本以上）群は、欠損あり（残存歯数が 24 本未満）群と比較して、9 年間の一人あたり平均歯科・調剤医療費が約 1.7 万円低く、統計的有意差が認められました。
- また、9 年間の一人あたり平均 2 型糖尿病医療費は、歯の欠損なし群の方が欠損あり群より約 3,400 円低く、統計的有意差が認められました。
- 生活習慣病罹患率、2 型糖尿病罹患率、虚血性心疾患罹患率についても、歯の欠損なし群の方が、欠損あり群より、それぞれ 1.1 ポイント、1.1 ポイント、0.7 ポイント低く、いずれも統計的有意差が認められました。



■ 今後の展開

本調査では、レセプトデータ等を活用し、歯科メンテナンス受療や歯の欠損の有無と、口腔および全身の健康、医療費との関連を検証しました。

その結果、歯科メンテナンス受療は歯科疾患の重症化率や残存歯数の減少と関連しており、口腔の健康維持に重要な役割を果たす可能性が示唆されました。また、歯の欠損がないことは、生活習慣病や内科・調剤医療費の適正化に寄与する可能性が示唆されました。本調査の結果は、生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）に向けた取組推進の検討材料となりうるものと考えております。

なお、本調査の結果は、厚生労働省「[全世代向けモデル歯科健康診査等実施事業（レセプトデータを活用した歯科健診の評価分析事業）に係る調査研究等一式（令和7年度委託事業）](#)」として掲載されております。

今後も引き続き、JMDCが有する多様なデータを活用した実態調査を通じ、「社会課題に対しデータとICTの力で解決に取り組むことで、持続可能なヘルスケアシステムの実現」というJMDCの描く未来の実現に資する取り組みを推進してまいります。



【株式会社 JMDC について】

医療ビッグデータ業界のパイオニアとして 2002 年に設立。独自の匿名化処理技術とデータ分析集計技術を有しています。26 億件以上のレセプトデータと 9,400 万件以上の健診データ（2026 年 3 月時点）の分析に基づく保険者向け保健事業支援、医薬品の安全性評価や医療経済分析などの情報サービスを展開しています。また、健康度の単一指標（健康年齢）や健康増進を目的とした Web サービス（Pep Up）など、医療データと解析力で健康社会の実現に取り組んでいます。

URL : <https://www.jmdc.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 JMDC コーポレートコミュニケーション室

TEL : 03-5733-5010

Email : jmdc-pr@jmdc.co.jp

（保険者顧客の皆さまは JMDC 担当営業までお問い合わせください。）